

事例 子供の見守り

■ LPWA サービス導入の背景

□LPWA 導入の背景

共働き世帯の増加により子供が親の目に届かない時間が多くなったり、学校の統廃合により登下校の時間が増えており、子供を取り巻く環境が変化している。

□LPWA 導入の目的

子供の日常的な活動エリアの安全確保が重要であることから、子供の安全リスクへの対応として見守りサービスが必要となっている。

■ 実証実験の取組内容について

□取組概要

児童の登下校時に今どこにいるか、どこに立ち寄ったかを遠隔で見守るサービス。動きを検知すると定期的に GPS で補足した位置情報を送信する。

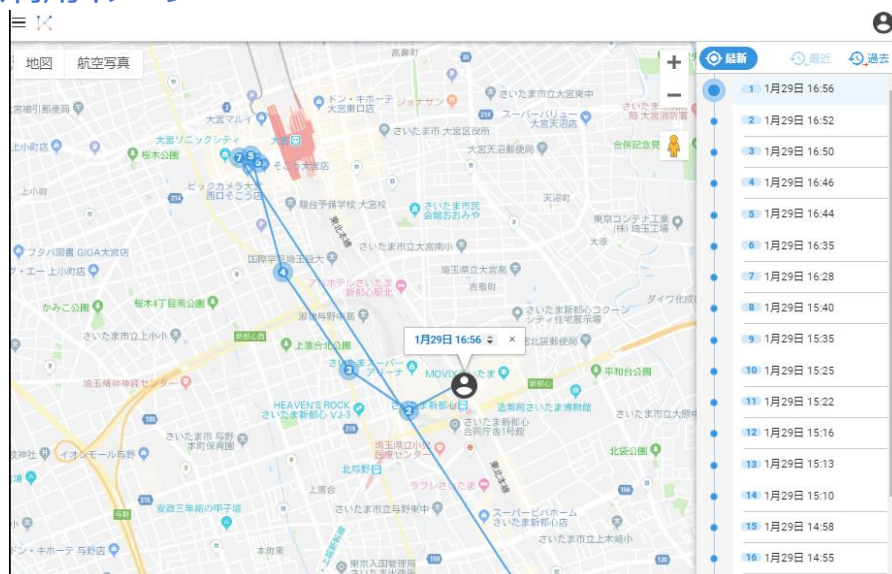


□導入した機器



<GPS 端末（子どもの位置情報発信用）>

□ サービス利用イメージ



<子どもの位置情報表示画面>

□ 取得データの概要

項目：位置情報

取得タイミング：3分に1回（加速度センサー内蔵により、子供の登下校等の歩行時のみ取得）

■ 導入効果

児童の登下校時に今どこにいるか、どこに立ち寄ったかを確認できた。

■ 利用者の声

- ・ 「何かがあったとき」や「帰りが遅いという事があったとき」などには役立つと思う。
- ・ 普段は親が居場所を確認できるが、仕事で不在の夕方や下校時の時間が詳しく知れるので良かった。

■ サービス提供事業者

(株)Hampstead